

第31回石川建築賞 受賞作品

◎優秀賞 近江町いちば館

設計者：株式会社 アール・アイ・エー金沢支社

施工者：株式会社 熊谷組北陸支店



武蔵が辻の第四地区と呼ばれる部分、近江町市場の一部と北國銀行武蔵が辻支店を含む地域の再開発の設計である。

昭和7年建築の武蔵が辻支店は村野藤吾設計の歴史的建築でありこの再生保存を行うこと、旧来の錯綜した市場の構成を整理して再構成し、高層化して新しく公益施設や駐車場などの機能を付加すること、国道側に対して新しく美しい外観、ファサードを見せること、この三つの主要な再開発課題に過不足の無い解決を与えている

◎優秀賞 畝田東の家

設計者：谷重義行＋建築像景研究室

施工者：株式会社 嶋源木建



「一本の大きく繁った樹木を囲んだ居住空間」という直截なテーマの住宅であり、そのテーマを親密で安らいだ空間と整った明晰な外観に纏めている。

狭い敷地で二階建てが要求されるという要件のなかでテーマを実現するために、土を盛って二階に中庭を設け樹木を植えるという着想に優れている。

この中庭を囲み巡って諸室が配置され、外部に対しては閉じられた空間を構成するコート・ハウスである。二階にある庭ということが更に外部との隔絶感を生み、空間の親密性を高めている。

入 選 加賀市立湖北小学校

設計者：長村峰行＋株式会社長村建築事務所

施工者：真柄建設株式会社 北陸本店



北側の丘の麓から南側の柴山瀉に向けて下る緩斜面という優れた自然景観を持つ敷地条件を生かして、この景観を児童の学校生活体験に生かす設計がなされている。

一階には特別教室群を配し、学校生活の中心となる普通教室は見晴らしの得られる二階に配置し、南側にも北側にもバルコニーを配して景観を教室空間に統合つての木造校舎を思わせる

外観デザインも含めて、周囲の環境に調和した設計がなされている

入 選 小さな家

設計者：松島健建築設計事務所 施工者：カルナホーム株式会社



タイトルに端的に顕れているように、ミニマム空間でローコストの住宅ということがテーマであり、巧みなプランニングと構成によって、ミニマムながら良質の空間を創造している。

借景を取り込む窓や空のみに開く高窓など様々な開口部によって空間に変化を与えており、比較的安価な材料を用いつつも熟考されたディテールによって、デザインに厚みをもたらした。

※今回、「知事賞」該当作品はありませんでした。